

令和4年度 シラバス（記載参考例）

科目名	単位数	標準単位数	対象学科・コース・類型・系列	対象学年・組	必修・選択	
音楽	2	2	音楽Ⅰ	1学年	選択	教

特記事項	2単位での設定となるが科目の目標は達成できる。					
------	-------------------------	--	--	--	--	--

科目目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次</p> <p>(1)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音身に付けるようにする。【知識及び技術】</p> <p>(2)自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。【力等】</p> <p>(3)主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に接する豊かなものにしていく態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】</p>					
------	--	--	--	--	--	--

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体
	曲想と音楽の構造などの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについてどのように表現するか思いや意図を持っている。	音楽活動を楽しみながらの学習活動に取り組み

年間指導計画表

月	予定時数	学習項目	学習内容（教科書）	評価の観点			評価規準・評価方法		
				知	思	能	知識・技術	思考・判断・表現	主体性
4	10	題材「校歌・二部合唱を歌おう」 教材・校歌 教材・校歌 ・優しいあの子 ・少年時代 ・小さな空	校歌の斉唱、暗譜での歌唱を学習する ・教科書の二部合唱に編曲された曲に取り組み、ハーモニーについて学習する(高校音楽Ⅰ Tutti plus P6～P10) ・姿勢や呼吸法、発声法に気をつけて、楽曲の特徴を感じ取り、イメージをもって歌えるように学習する(高校音楽Ⅰ Tutti plus P6～P10)	○	○	○	曲想と歌詞、言葉の特性に応じた発声との関わりについて理解している。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技術を身に付け歌唱で表現している。【技能】	音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	旋律溶かしの関係に働いて歌うとして
5 6 7	8	題材「キーボードに挑戦」 教材・メリさんの羊 ・喜びの歌 ・創作プリント	・記譜法や、楽譜を読むのに必要な基礎的な知識を学習する。 ・五線、音階、音符と休符、リズムと表紙、曲想と奏法に関する用語を理解し学習する(高校音楽Ⅰ Tutti plus P146) ・基本的なC・F・Gを磨き学習する。 ・コード進行についての基礎的な知識を学び、伴奏法を学習する。(高校音楽Ⅰ Tutti plus P148) ・コードC・F・Gを使ってメロディーを創作し学習する。(高校音楽Ⅰ Tutti plus P146)	○	○	○	音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したイメージと関わらせて理解している。【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な旋律を作ったり、作った旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽を作ったりする技能を身に付けて表現している。【技能】	旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	音素材、リしたと体的・協組もうと
9 10 11 12	6 14	題材「様々な時代や国の音楽を味わおう」 教材・オペラ「魔笛」 ・オペラ座の怪人 ・レクイエム ・ゴスペル ・ロックの歴史 ・生徒のリクエスト曲 題材「ギターに挑戦しよう」 翼をください ・茶色のこびん ・グリーンスリーブス	・教科書にある様々なじだいや国の音楽を楽曲の文化的・歴史的背景や表現の特徴を理解して鑑賞する。また、その楽曲の作曲家の生涯や主な作品についても学ぶ。 ・生徒からのリクエスト曲も鑑賞し、普段から自分たちが歌っている曲についても曲の構成や雰囲気を作り上げている要素などを知覚し、それらの働きを感受して鑑賞し学習する。(高校音楽Ⅰ Tutti plus P130～P131) ・ギターの基本的なコードG・D7・C・Em・Cm7等を習得し、曲を弾き語りで演奏する。 ・ギターの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏技法を学習する。 ・ギターの奏法の名称やダイアグラムの読み方について学習する。	○	○	○	音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。【知識】 曲想と楽器の音色や演奏法との関わりについて理解している。【知識】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技術を身に付けている。【技能】	旋律、構成を知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞いている。	曲想や表との関わり協働的にとしてい
	16	題材「郷土の音楽、歌三線」 ・安里屋ユンタ ・安波節 ・涙そうそう ・童神	・郷土の音楽、琉球民謡、琉球古典音楽を鑑賞し、歴史や背景など理解を深める琉球音楽の楽しさ奥深さを味わい学習する。(高校音楽Ⅰ Tutti plus P92) ・三線のルーツにつや構造について学習する。 ・三線の基本的な奏法や工工四の読み方を学習し、弾き謡で演奏する。	○	○	○	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及び曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。【知識】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。【技能】	音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って音楽表現を工夫して演奏している。	音楽が持的・歴史をもち主習に取り

使用する教科書

教育出版社 高校音楽Ⅰ Tutti plus

の通り育成することを目指す。
 楽表現をするために必要な技能を

ようにする。【思考力・判断力・表現

親しみ、音楽によって生活や社会を明

主体的に取り組む態度

主体的・協働的に歌唱・器楽・鑑賞
 している。

	備考
主体的に取り組む態度	
①の持つ言葉のリズムと ②の関心をもち、主体的・協 ③の学習活動に取り組も ④している。	
⑤音をかさねたりかさねた ⑥の響きに関心をもち主 ⑦働的に創作の学習に取り ⑧している。	
⑨現上の効果と音楽の構造 ⑩に関心をもち主体的・ ⑪鑑賞の学習に取り組もう ⑫る。	
⑬器の奏法に関心をもち、 ⑭を楽しみながら主体的・ ⑮学習に取り組もうとして	
⑯①曲想と音楽構造や文化 ⑰的背景との関わりに関心 ⑱主体的・協働的に楽器の学 ⑲組もうとしている。	

	備考
<p>句に取り組む態度</p> <p>しを持つ言葉のリズムと 関心をもち、主体的・協 唱の学習活動に取り組も いる。</p> <p>器の音色や奏法との関わ な表現形態による器楽表 関心をもち、主体的・ 器楽の学習に取り組もう る。</p> <p>現上の効果と音楽の構造 りに関心をもち主体的・ 鑑賞の学習に取り組もう る。</p>	